鳥取市補助金カルテ

NO. 346

担当課 青谷町総合支所地域振興課

外線 0857-30-8692

適合性判定 今後見直しが必要

予算措置 令和7年度 当初予算

補助金名 青谷オープン卓球大会補助金

概要

青谷オープン卓球実行委員会が実施する「青谷オープン卓球大会」の開催費補助。

補助金区分イベント・行事等に関する補助

根拠法令 第11次鳥取市総合計画(施策2403)魅力ある中山間地域の振興

創設年度 H27

終期 終期設定なし

○ 予算科目、財源、補助金の推移

款総務費

項総務管理費

日 企画費

歳出事業名青谷オープン卓球大会補助金

R 7予算

400千円

|640千円(大会経費)-240千円(補助金以外の収入)

R 7予算 積算根拠

過去実績	件数	決算額 (千円)
R 6 (見込)	1	400
R 5	1	400
R 4	1	3
R 3	1	2

補助率・補助額

|10分の10(千円未満端数切り捨て)

上限額 | 設定なし

特定財源 なし(一般財源、基金繰入のみ)

〇 補助金交付対象、要件、方法

交付先 青谷オープン卓球実行委員会

交付要件

青谷オープン卓球大会を運営する実行委員会

対象経費

運営に要する経費のうち、協賛金、負担金等の特定財源により充当されるもの及び食糧費を 控除したもの

精算方法 | 交付決定の年度内に補助額を確定し、精算する。

| 実績確認 | 実績報告書に添付の領収書や事業内容が判別できる資料等で確認する。

○ 団体運営補助の状況

田休宝学弗特的

四体連呂貫補助	非該当
運営費に占める 補助金の割合	62.5%
繰越金の有無	_

人件費	-	積立金	ı
交際費	1	出資金	ı
慶弔費	1	貸付金	ı
飲食費	_	寄附金	-
懇親会費	-	他団体助成金	-

※団体運営費補助ではない

	適正化の視点	番号	基準	判定
合規性	事務が法令等に従って 適法に行われているか	01-01	根拠となる「計画」や「法令」がある	0
	どうか。	01-02	補助金交付要綱等を設けている	0
		02-01	交付先団体には補助金額を超える恒常的な資金(内部留保資金)はない ※団体運営費補助の場合のみ判定	-
	[経済性] 事務が経済的に行われ	02-02	補助金の精算は交付年度と同一年度に行って いる	
	無駄がないか。	02-03	実績報告に事業費を証する領収書等が添付さ れている	0
3 E		02-04	原則として補助対象外とすべき経費(人件 費、交際費等)に補助金を交付していない	0
<i>3</i> L	[効率性] 事務が効率的に行われ 生産性が高いか。	02-05	補助率は1/2以下である ※該当する場合、02-06と02-07は判定不要	×
		02-06	補助率が1/2を超える合理的な理由がある	×
		02-07	補助率は1/2を超えているが、上限額を設定している	0
	[有効性]	02-08	終期設定がある	×
	所期の目的を達成し効 果を上げているか。	02-09	効果目標の設定がある	0
公益性	対象事業に公益上の必 要性はあるか。	03-01	特定の者の利益となっていない	0
	[公平性] 事務執行が公平になさ	04-01	補助金の交付額は長期間固定化していない(え 去3年のうち、2回以上同額交付とはなってい ない)	
公平性	れているか。	04-02	交付団体の事務局委任を受けていない(市担 当課が事務局を担っていない)	×
	[透明性] 市民に対して事業の目 的や内容について広く 公開しているか。	04-03	検証結果を公開している(市民に対して事業の 目的や内容を広く公開している)	
			不適合の数	5
			評価対象項目数	14

	適合性はないが、補助金を交付する合理的な理由				
合規性	_				
3 E	2-8 効果検証のうえ継続の有無を判断。				
公益性	-				
公平性	_				

	今後見直しを検討
今後の具体的な 改善方針	効果目標の設定、補助率・補助金額を精査し、補助上限を設定、事務局の移行

審査/行財政改革課	今後見直しが必要	
	補助率が1/2以上であり、	、特定団体への同額交付が複数年続いている。
意見		

鳥取市補助金カルテ **1**347 NO. 担当課 青谷町総合支所地域振興課 外線 10857-30-8692 |適合性判定||今後見直しが必要 予算措置 | 令和7年度 当初予算 補助金名 青谷地域活性化推進事業補助金 青谷の自然、歴史文化などの魅力を次代に継承す べく、様々な活動に取り組んでいる個々の まちづくり団体の活動母体となる組織「青谷地域づくり連絡協議会」に対して補助する。 概要 補助金区分その他の事業費補助 根拠法令 第11次鳥取市総合計画(施策2403)魅力ある中山間地域の振興 終期設定なし 創設年度 H19 終期 ○ 予算科目、財源、補助金の推移 款 総務費 総務管理費 項 目 |企画費 歳出事業名青谷地域活性化推進事業費 R7予算 1,130千円 決算額 過去実績 件数 (千円) |対象経費 1.194千円-64千円(補助金以外の収入) R 6 1 1, 130 (見込) R7予算 積算根拠 **R** 5 1 1, 117 1, 119 **R4 R3** 789 補助率・補助額 |10分の10(予算の範囲内) 上限額 1,130千円

特定財源 なし(一般財源、基金繰入のみ)

○ 補助金交付対象、要件、方法

交付先 青谷地域づくり連絡協議会

交付要件

交付対象は青谷地域づくり連絡協議会とする。

対象経費

講師等専門家への謝金、旅費交通費、需用費(食糧費を除く)、役務費、委託料、会場等借 上料、原材料購入費、備品購入費

精算方法 | 交付決定の年度内に補助額を確定し、精算する。

実績確認 |実績報告書に添付の領収書や事業内容が判別できる資料等で確認する。

○ 団体運営補助の状況

11 = 1 +14

団体運営費補助	非該当
運営費に占める 補助金の割合	1
繰越金の有無	_

人件費	-	積立金	-
交際費	-	出資金	-
慶弔費	_	貸付金	-
飲食費	_	寄附金	-
懇親会費	_	他団体助成金	_

今後の具体的な 改善方針

	適正化の視点	番号	基準	判定
	事務が法令等に従って 適法に行われているか・	01-01	根拠となる「計画」や「法令」がある	0
口况注	どうか。	01-02	補助金交付要綱等を設けている	0
		02-01	交付先団体には補助金額を超える恒常的な資金(内部留保資金)はない ※団体運営費補助の場合のみ判定	-
	[経済性] 事務が経済的に行われ	02-02	補助金の精算は交付年度と同一年度に行って いる	0
	無駄がないか。	02-03	実績報告に事業費を証する領収書等が添付されている	0
3 E		02-04	原則として補助対象外とすべき経費(人件 費、交際費等)に補助金を交付していない	0
JL	[効率性] 事務が効率的に行われ 生産性が高いか。	02-05	補助率は1/2以下である ※該当する場合、02-06と02-07は判定不要	×
		02-06	補助率が1/2を超える合理的な理由がある	0
		02-07	補助率は1/2を超えているが、上限額を設定している	0
	[有効性] 所期の目的を達成し効	02-08	終期設定がある	×
	果を上げているか。	02-09	効果目標の設定がある	0
公益性	対象事業に公益上の必 要性はあるか。	03-01	特定の者の利益となっていない	0
	[公平性] 事務執行が公平になさ	04-01	補助金の交付額は長期間固定化していない(法 去3年のうち、2回以上同額交付とはなってい ない)	
公平性	れているか。	04-02	交付団体の事務局委任を受けていない(市担 当課が事務局を担っていない)	. 0
	[透明性] 市民に対して事業の目 的や内容について広く 公開しているか。	04-03	検証結果を公開している(市民に対して事業の目的や内容を広く公開している)	0
			不適合の数	2
			評価対象項目数	14

適合性はないが、補助金を交付する合理的な理由					
合規性	-				
3 E	2-6,2-7 青谷地域活性化を推進するために欠かせない事業であり、事業主体は独自の財源を 持たないため。 2-8 効果検証のうえ継続の有無を判断。				
公益性	_				
公平性	-				
評価/担当課 今後見直しを検討					

審査/行財政改	革課 今後見直しが必要	
意見	補助率が1/2以上である。	

鳥取市補助金カルテ

1348 NO.

担当課 青谷町総合支所地域振興課

外線

10857-30-8692

|適合性判定||今後見直しが必要

予算措置 | 令和7年度 当初予算

補助金名 |青谷地域にぎわい創出事業補助金

概要

青谷地域にぎわい創出実行委員会が行う、因州和紙の伝承やPR、まちなか周遊、青谷上寺地 遺跡を利活用した情報発信などの活動に要する経費を補助。

補助金区分その他の事業費補助

根拠法令 第11次鳥取市総合計画(施策2403)魅力ある中山間地域の振興

創設年度 |H28

終期設定なし 終期

○ 予算科目、財源、補助金の推移

款 |商工費

|商工費 項

観光費 目

歳出事業名青谷地域にぎわい創出事業補助金

R7予算

R7予算 積算根拠 2,850千円

|対象経費 2,865千円(青谷因州和紙産地強化事業、青谷 ようこそ市場事業、青谷上寺地遺跡利活用推進事業)-15 千円(補助金以外の収入)

過去実績	件数	決算額 (千円)
R 6 (見込)	1	2, 737
R 5	1	2, 485
R 4	1	1,969
R 3	1	888

補助率・補助額

|10分の10(予算の範囲内)

上限額 | 設定なし

特定財源 なし(一般財源、基金繰入のみ)

〇 補助金交付対象、要件、方法

|青谷地域にぎわい創出実行委員会 交付先

交付要件

交付対象は青谷地域にぎわい創出実行委員会とする。

補助対象事業の実施に要する経費の額(協賛金、負担金等の特定財源により充当されるもの 及び食糧費の額を控除したもの。)

対象経費

精算方法 | 交付決定の年度内に補助額を確定し、精算する。

実績確認 |実績報告書に添付の領収書や事業内容が判別できる資料等で確認する。

○ 団体運営補助の状況

団体運営費補助	非該当
運営費に占める 補助金の割合	-
繰越金の有無	ı

_	積立金	ı
-	出資金	ı
_	貸付金	-
-	寄附金	-
-	他団体助成金	-
	- - - -	- 貸付金 - 寄附金

	適正化の視点	番号	基準	判定
 合規性	事務が法令等に従って 適法に行われているか	01-01	根拠となる「計画」や「法令」がある	0
	どうか。	01-02	補助金交付要綱等を設けている	0
		02-01	交付先団体には補助金額を超える恒常的な資金(内部留保資金)はない ※団体運営費補助の場合のみ判定	-
	[経済性] 事務が経済的に行われ	02-02	補助金の精算は交付年度と同一年度に行って いる	
	無駄がないか。	02-03	実績報告に事業費を証する領収書等が添付さ れている	
3 E		02-04	原則として補助対象外とすべき経費(人件 費、交際費等)に補助金を交付していない	0
<i>3</i> L	[効率性] 事務が効率的に行われ 生産性が高いか。	02-05	補助率は1/2以下である ※該当する場合、02-06と02-07は判定不要	×
		02-06	補助率が1/2を超える合理的な理由がある	0
		02-07	補助率は1/2を超えているが、上限額を設定している	0
	「有効性」	02-08	終期設定がある	×
	所期の目的を達成し効 果を上げているか。	02-09	効果目標の設定がある	0
公益性	対象事業に公益上の必 要性はあるか。	03-01	特定の者の利益となっていない	0
公平性	[公平性] 事務執行が公平になさ れているか。	04-01	補助金の交付額は長期間固定化していない(える 去3年のうち、2回以上同額交付とはなっていない)	
		04-02	交付団体の事務局委任を受けていない(市担 当課が事務局を担っていない)	
	[透明性] 市民に対して事業の目 的や内容について広く 公開しているか。	04-03	検証結果を公開している(市民に対して事業(目的や内容を広く公開している)	
			不適合の数	2
			評価対象項目数	14

	適合性はないが、補助金を交付する合理的な理由			
合規性	-			
3 E	2-6,2-7 青谷地域のにぎわいを創出するために欠かせない事業であり、事業主体は独自の財源を持たないため。 2-8 効果検証のうえ継続の有無を判断。			
公益性	-			
公平性	-			

評価/担当課	今後見直しを検討	
今後の具体的な 改善方針	_	

審査/行財政改革課	今後見直しが必要
	補助率が1/2以上である。
意見	

鳥取市補助金カルテ 1349 NO. 担当課 青谷町総合支所地域振興課 外線 10857-30-8692 予算措置 令和7年度 当初予算 適合性判定 今後見直しが必要 補助金名 |青谷ようこそ夏まつり事業補助金 鳥取市西商工会が実施する「青谷ようこそ夏まつり」の開催費補助。 概要 補助金区分イベント・行事等に関する補助 根拠法令 第11次鳥取市総合計画(施策2403)魅力ある中山間地域の振興 終期設定なし 創設年度 H28 終期 ○ 予算科目、財源、補助金の推移 款 |商工費 商工費 目 観光費 項 歳出事業名|青谷ようこそ夏まつり事業費 950千円 R7予算 決算額 件数 過去実績 (千円) |対象経費 2,704千円(事業費) - 1,754千円(補助金以外 の収入等) R 6 1 950 (見込) R7予算 積算根拠 950 **R** 5 1 **R4 R3** 0 0 補助率・補助額 |10分の10(予算の範囲内) 上限額 |設定なし 特定財源 なし(一般財源、基金繰入のみ) ○ 補助金交付対象、要件、方法 鳥取市西商工会 交付先 交付対象は鳥取市西商工会とする。 交付要件 報償費、会場整備費、広告宣伝費、役務費、消耗品費、委託費 対象経費 精算方法 | 交付決定の年度内に補助額を確定し、精算する。 実績確認 |実績報告書に添付の領収書や事業内容が判別できる資料等で確認する。 ○ 団体運営補助の状況 ○ 補助対象経費に含まれる費用

団体運営費補助	非該当
運営費に占める 補助金の割合	
繰越金の有無	-

人件費	ı	積立金	ı
交際費	1	出資金	ı
慶弔費	_	貸付金	-
飲食費	_	寄附金	-
懇親会費	-	他団体助成金	-

※団体運営費補助ではない

	適正化の視点	番号	基準	判定
合規性	事務が法令等に従って 適法に行われているか	01-01	根拠となる「計画」や「法令」がある	0
口州江	どうか。	01-02	補助金交付要綱等を設けている	0
		02-01	交付先団体には補助金額を超える恒常的な資金(内部留保資金)はない ※団体運営費補助の場合のみ判定	-
	[経済性] 事務が経済的に行われ	02-02	補助金の精算は交付年度と同一年度に行って いる	0
	無駄がないか。	02-03	実績報告に事業費を証する領収書等が添付さ れている	0
3 E		02-04	原則として補助対象外とすべき経費(人件 費、交際費等)に補助金を交付していない	0
JL	[効率性] 事務が効率的に行われ 生産性が高いか。	02-05	補助率は1/2以下である ※該当する場合、02-06と02-07は判定不要	×
事 生 		02-06	補助率が1/2を超える合理的な理由がある	×
		02-07	補助率は1/2を超えているが、上限額を設定している	′ ×
	[有効性] 所期の目的を達成し効 果を上げているか。	02-08	終期設定がある	×
		02-09	効果目標の設定がある	0
公益性	対象事業に公益上の必 要性はあるか。	03-01	特定の者の利益となっていない	0
公平性	[公平性] 事務執行が公平になさ れているか。	04-01	補助金の交付額は長期間固定化していない(過去3年のうち、2回以上同額交付とはなっていない)	
		04-02	交付団体の事務局委任を受けていない(市担当課が事務局を担っていない)	0
	[透明性] 市民に対して事業の目 的や内容について広く 公開しているか。	04-03	検証結果を公開している(市民に対して事業の目的や内容を広く公開している)	0
			不適合の数	4
			評価対象項目数	14

 	適合性はないが、補助金を交付する合理的な理由 - -
3 E	2-8 効果検証のうえ継続の有無を判断。
公益性	
公平性	_

評価/担当課	今後見直しを検討	
今後の具体的な 改善方針	_	

審査/行財政改革課	今後見直しが必要
立 口	補助率が1/2以上であり、上限額の設定がない。
意見	

鳥取市補助金カルテ 1350 NO. 担当課 青谷町総合支所地域振興課 外線 10857-30-8692 |適合性判定||今後見直しが必要 予算措置 | 令和7年度 当初予算 補助金名 西いなば観光キャンペーン事業補助金 鳥取市西商工会等が行う、鳥取市西部地域の風土資産等を活用した観光振興を目的に行う キャンペーン事業に要する経費を補助。 概要 補助金区分その他の事業費補助 根拠法令 第11次鳥取市総合計画(施策2403)魅力ある中山間地域の振興 終期設定なし 終期 創設年度 |H28 ○ 予算科目、財源、補助金の推移 款 |商工費 |商工費 観光費 項 目 歳出事業名|観光イベント開催補助金(観光キャンペーン事業分) 200千円 R7予算 決算額 過去実績 件数 (千円) |対象経費 600千円×10/10(上限額200千円) R 6 1 197 (見込) R7予算 積算根拠 198 **R** 5 1 171 1 **R4 R3** 200 補助率・補助額 |10分の10(予算の範囲内) 上限額 200千円

特定財源 なし(一般財源、基金繰入のみ)

○ 補助金交付対象、要件、方法

交付先に鳥取市西商工会又はその内部団体

交付要件

交付対象事業は、西いなば地域(鳥取市西部地域)の風土資産等を活用し、観光振興を目的 に行うキャンペーン事業とする。

الكرال

報償費、広告宣伝費、消耗品費

対象経費

精算方法 | 交付決定の年度内に補助額を確定し、精算する。

実績確認 |実績報告書に添付の領収書や事業内容が判別できる資料等で確認する。

○ 団体運営補助の状況

繰越金の有無

団体運営費補助	非該当
運営費に占める 補助金の割合	-

人件費	1	積立金	1
交際費	1	出資金	ı
慶弔費	-	貸付金	-
飲食費	_	寄附金	-
懇親会費	_	他団体助成金	_

	適正化の視点	番号	基準	判定
合規性	事務が法令等に従って 適法に行われているか	01-01	根拠となる「計画」や「法令」がある	0
口况注	どうか。	01-02	補助金交付要綱等を設けている	0
		02-01	交付先団体には補助金額を超える恒常的な資金(内部留保資金)はない ※団体運営費補助の場合のみ判定	<u>-</u>
	[経済性] 事務が経済的に行われ	02-02	補助金の精算は交付年度と同一年度に行って いる	
	無駄がないか。	02-03	実績報告に事業費を証する領収書等が添付さ れている	0
3 E		02-04	原則として補助対象外とすべき経費(人件 費、交際費等)に補助金を交付していない	0
JL	[効率性] 事務が効率的に行われ 生産性が高いか。 [有効性] 所期の目的を達成し効・ 果を上げているか。	02-05	補助率は1/2以下である ※該当する場合、02-06と02-07は判定不要	×
		02-06	補助率が1/2を超える合理的な理由がある	0
		02-07	補助率は1/2を超えているが、上限額を設定ている	0
		02-08	終期設定がある	×
		02-09	効果目標の設定がある	0
公益性	対象事業に公益上の必 要性はあるか。	03-01	特定の者の利益となっていない	0
	[公平性] 事務執行が公平になさ	04-01	補助金の交付額は長期間固定化していない(去3年のうち、2回以上同額交付とはなってい ない)	×
公平性	れているか。	04-02	交付団体の事務局委任を受けていない(市担 当課が事務局を担っていない)	
	[透明性] 市民に対して事業の目 的や内容について広く 公開しているか。	04-03	検証結果を公開している(市民に対して事業の目的や内容を広く公開している)	n o
			不適合の数	3
			評価対象項目数	14

	適合性はないが、補助金を交付する合理的な理由				
合規性	_				
3 E	 2-6,2-7 上限額を20万円としている。 2-8 効果検証のうえ継続の有無を判断。 				
公益性	-				
公平性	-				

評価/担当課	今後見直しを検討	
今後の具体的な 改善方針	_	

	今後見直しが必要	
意見	特定団体への交付が複数年続いてい	3 .

鳥取市補助金カルテ **I**351 NO. 担当課 青谷町総合支所地域振興課 外線 10857-30-8692 予算措置 令和7年度 当初予算 |適合性判定|適切 補助金名 鳥取市青谷上寺地遺跡地域学習環境整備補助金 県外出身で市内に居住し、県立青谷高等学校で青谷上寺地遺跡に係る学習を履修する生徒の 保護者に対し支援金を交付。 概要 補助金区分個人に対する補助 根拠法令 第11次鳥取市総合計画(施策2403)魅力ある中山間地域の振興 終期設定なし 終期 創設年度 |R5 ○ 予算科目、財源、補助金の推移 款 総務費 項 |総務管理費 企画費 目 歲出事業名 青谷上寺地遺跡地域利活用運営事業費 240千円 R7予算 決算額 件数 過去実績 (千円) 10千円×12月×2人 R 6 1 120 (見込) R7予算 積算根拠 0 **R** 5 0 0 0 R 4 **R3** 0 0 補助率・補助額 10千円/月 上限額 120千円 特定財源 なし(一般財源、基金繰入のみ) ○ 補助金交付対象、要件、方法 生徒の保護者又は主たる生計維持者 交付先 鳥取県立青谷高等学校に在学する鳥取県外出身の生徒で、次のすべてに該当する者の保護者 又は主たる生計維持者。 1)鳥取市内に居住し通学する者 2)在学中に青谷上寺地遺跡に係る学習を継続して履修し、1年次「産業社会と人間」、2年次「青谷学 I」、3年次 交付要件 「青谷学Ⅱ」の文学歴史グループ又は「弥生文化探究」のいずれか又は両方を履修する者 下宿する場合の生活費 対象経費 精算方法 年3回の支払ごとに実績を確認するため、精算しない。 実績確認 |校長・下宿責任者による確認署名による申請・請求内訳書 ○ 団体運営補助の状況 ○ 補助対象経費に含まれる費用

団体運営費補助	非該当
運営費に占める 補助金の割合	1
繰越金の有無	-

人件質	-	槓立金	_
交際費	1	出資金	_
慶弔費	_	貸付金	-
飲食費	_	寄附金	-
懇親会費	-	他団体助成金	_

※団体運営費補助ではない

	適正化の視点	番号	基注	<u></u>	判定
事務が法令等に従って 合規性 適法に行われているか・		01-01	根拠となる「計画」や「	法令」がある	0
口观江	どうか。	01-02	補助金交付要綱等を設け	ている	0
		02-01	交付先団体には補助金額金(内部留保資金)はない ※団体運営費補助の場合	\ iのみ判定	-
	[経済性] 事務が経済的に行われ	02-02	補助金の精算は交付年度 いる	と同一年度に行って	0
	無駄がないか。	02-03	実績報告に事業費を証す れている	る領収書等が添付さ	×
3 E		02-04	原則として補助対象外と 費、交際費等)に補助金	:すべき経費(人件 を交付していない	0
JL	[効率性] 事務が効率的に行われ 生産性が高いか。 [有効性] 所期の目的を達成し効 果を上げているか。	02-05	補助率は1/2以下である ※該当する場合、02-06	と02-07は判定不要	×
		02-06	補助率が1/2を超える合う	浬的な理由がある	0
		02-07	補助率は1/2を超えている	るが、上限額を設定し	0
		02-08	終期設定がある		×
		02-09	効果目標の設定がある		0
公益性	対象事業に公益上の必 要性はあるか。	03-01	特定の者の利益となっていない		0
	[公平性] 事務執行が公平になさ	04-01	補助金の交付額は長期間 去3年のうち、2回以上同 ない)		0
公平性	れているか。	04-02	交付団体の事務局委任を 当課が事務局を担ってい		0
	[透明性] 市民に対して事業の目 的や内容について広く 04-03 公開しているか。		検証結果を公開している 目的や内容を広く公開し	(市民に対して事業の ,ている)	0
				不適合の数	3
				評価対象項目数	14

	適合性はないが、補助金を交付する合理的な理由					
合規性	-					
3 E	2-3 生徒の履修確認を学校から取っているため。 2-6,2-7 入学後3年間の生活に係る経費の うち、月額定額を支援するものであるため。 2-8 効果検証のうえ継続の有無を判断。					
公益性	_					
公平性	-					

評価/担当課	適切	
今後の具体的な 改善方針		

審査/行財政改革課	適切	
	_	
意見		